

カキのわい性台木に利用できるカキ新品種 「豊楽台」

市販化

温室効果ガス

農薬

肥料

有機農業

その他
(労働生産性)

生産 品目：カキ

技術の概要

カキの台木は共台（カキの実生台木）を利用しているが、樹高が高くなりやすいため、脚立を使用した高所作業が多くなり、作業性や安全性に問題がある。また、共台は挿し木等による栄養繁殖ができないため、種子繁殖による形質のばらつきが問題である。そこで、挿し木繁殖性に優れ、省力性・生産性が高いわい性台木「豊楽台」を育成した。

台木による生育および果実の生産力の違い（「富有」）

台木	樹高 (m)	樹冠容積 (m ³)	樹冠面積当たりの 収量 (kg/m ²)	樹冠容積当たりの 収量 (kg/m ³)
豊楽台	2.8	4.7	4.1	4.8
共台 (対照)	3.7	10.7	3.1	2.8



緑枝挿し木の
発根状況



台木の違いによる「富有」の生育状況

導入の留意点

・樹勢の弱いカキ品種での検証が必要

わい性台木のため、樹勢の弱い品種では樹勢がより低下する可能性があり、導入時に検証が必要である。

・挿し木に発根促進剤とミスト処理が必要

挿し木には、発根促進剤の浸漬処理とその後のミスト処理が必要である。

効果

◎樹の大きさが共台の4割で化学農薬使用量を削減

共台接ぎ木樹より樹高が低く、樹の容積も半分以下となるため、化学農薬使用量の約2割の削減が見込まれる。また、高所作業も少なくなり、省力化や労働災害軽減にも貢献できる。

◎徒長枝の発生が少なく、生産性が向上

「豊楽台」接ぎ木樹は、徒長枝の発生が約7割少なくなるため果実の生産性が向上する。

◎挿し木で容易にクローン苗を増殖可能

緑枝挿し木（新梢を挿し穂に利用）で容易に繁殖できる。

その他（価格帯、研究開発・改良、普及の状況）

- 適応地域：全国のカキ産地
- 導入方法：利用許諾契約を締結している事業者より購入

関連情報

- ・ Tree growth, productivity, and fruit quality of 'Fuyu' persimmon trees onto different dwarfing rootstocks (2022)
Scientia Horticulturae

- ・ 令和3年度農研機構普及成果情報

- ・ カキわい性台木「豊楽台」（標準作業手順書（SOP））

